



昨年度に引き続き、自立活動を担当させていただくことになった村上です。先生方や御家庭と連携し、子供たちがなりたい自分に少しでも近付けるよう指導・支援のお手伝いできればと思います。どうぞよろしく願いいたします。この「ワクワク」では、日常の自立活動の様子や連携指導の様子、自立活動に関する情報を発信していきたいと思ひます。

自立活動ってなに？

「日常生活や学習における困難さを改善・克服！！得意なことを伸ばす学習！！」

○ 自立活動での「自立」って？

一般で使われている「自立」の意味は「自分の力で物事をやっていくこと」です。しかし、自立活動で使われる「自立」の意味は「障害の状態や発達の段階に応じて、自分の力を可能な限り発揮し、主体的によりよく生きていくこと」です。つまり、困っていることに対して、自ら改善していく力や方法を身に付けることとなります。障害により難しいところは、支援や配慮を求めることも自立活動では「自立」として捉えられています。

○ どうやって指導していくの？

自立活動の内容は、6区分27項目で示されており、その中から児童生徒一人一人の障害の状態や発達の程度に応じて必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定します。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
(1)生活のリズムや生活習慣の形成 (2)病気の状態の理解と生活管理 (3)身体各部の状態の理解と養護 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整 (5)健康状態の維持・改善	(1)情緒の安定 (2)状況の理解と変化への対応 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	(1)他者とのかかわりの基礎 (2)他者の意図や感情の理解 (3)自己の理解と行動の調整 (4)集団への参加の基礎	(1)保有する感覚の活用 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応 (3)感覚の補助及び代用手段の活用 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	(1)姿勢と運動・動作の基本的な技能 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 (3)日常生活に必要な基本動作 (4)身体の移動能力 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行	(1)コミュニケーションの基礎的能力 (2)言語の受容と表出 (3)言語の形成と活用 (4)コミュニケーション手段の選択と活用 (5)状況に応じたコミュニケーション

○ 自立活動の指導について

自立活動は、児童生徒一人一人の実態に応じて、個別に計画して行われるものであり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取り組みを促す教育です。自立活動の指導は、時間における指導を中心とし、学校の教育活動全体を通して行われます。また、必要に応じて外部医療機関とも連携を取りながら教育活動を進めていきますが、指導・支援の内容や方法などの確認や環境の調整、合理的配慮(できる環境作り)が鍵！まずは、連絡帳や面談などを通じて御家庭と担任間で情報共有に心掛け、学んだことを生活の場である家庭や地域でも発揮できるよう連携していきたいと思ひます。

いつでも、どこでも、誰とでもできるように！！

御家庭との連携を第一に心掛け、指導・支援に当たっていきます。



☆ 今年度も PT(理学療法士)・ST(言語聴覚士)・OT(作業療法士)連携指導を年5回実施予定です。(保護者参加可)希望される場合は、下記の欄に相談事項等を記入され、4月23日までに担任へ御提出ください。なお、連携指導の様子について自立活動だよりに掲載し、御紹介をさせていただく場合があります。御了承ください。

----- きりとり -----

()部 ()年 名前()
 PT : 5/中旬, 1/中旬予定 () ST : 6/中旬, 2/初旬予定 () OT : 7/中旬 予定 ()
 掲載について(○ ×)

相談事項